

## ブラックシリカと超純水の有効性思考

昭和薬科大学薬学部

准教授 小野寺 敏 医学博士

ブラックシリカは、二酸化珪素が主成分の石です。二酸化珪素というと、水晶の成分と思われませんがこの場合は、珪藻類という植物プランクトンが長い年月を得て濃縮し石化したものです。石英のように結晶化はしておりません。石墨というグラファイトが含まれているため黒鉛珪石とも言われています。海や川、湖に見られます。この石は、北海道上ノ国町でとれるのが有名です。

ブラックシリカの特徴は、強い遠赤外線を放射していることです。すべての物質は、多少の遠赤外線を放射しています。放射の強さを測るのに分光放射率で表しますが1が一番強力ですが、このブラックシリカは、0.9というハイレベルの分光放射率を示しています。ということは、身体を温める強い効果があるということです。よく岩盤浴に利用されています。浴槽に入れると保温が高まり、肌がしっとりした感が得られます。又飲料水に入れておくとまるやかな味の感が得られます。

またマイナスイオンを発生していることから身体の心の癒しにもつながっており又、免疫力を高めたり、血流が良くなるなど多くの体質改善などの効果も期待されます。

更に、汚れや臭気がなくなるので吸収、分解が起きているのではないかと考えられていますので空気の清浄化も期待されます。

以上ブラックシリカの効能について述べましたが、人間には個性がある様に感じ方にも個人差があることをご理解ください。

また、超純水は大学の研究室などで細胞や血液を培養する際に使用する雑菌、有機物、金属イオン極限まで取り除いた超高純度の水(電気抵抗率 18、2MΩcm)で水道水の約40万倍もの純度がある水です。ナノサイズよりも小さい約2.5オングストロームサイズで、細胞の細胞膜に存在するタンパク質の一種であるアクアポリンという約3オングストロームの穴よりも小さいため浸透力が高く、頭髮・皮膚・爪などへしっかり潤いを届けることが期待出来ます。